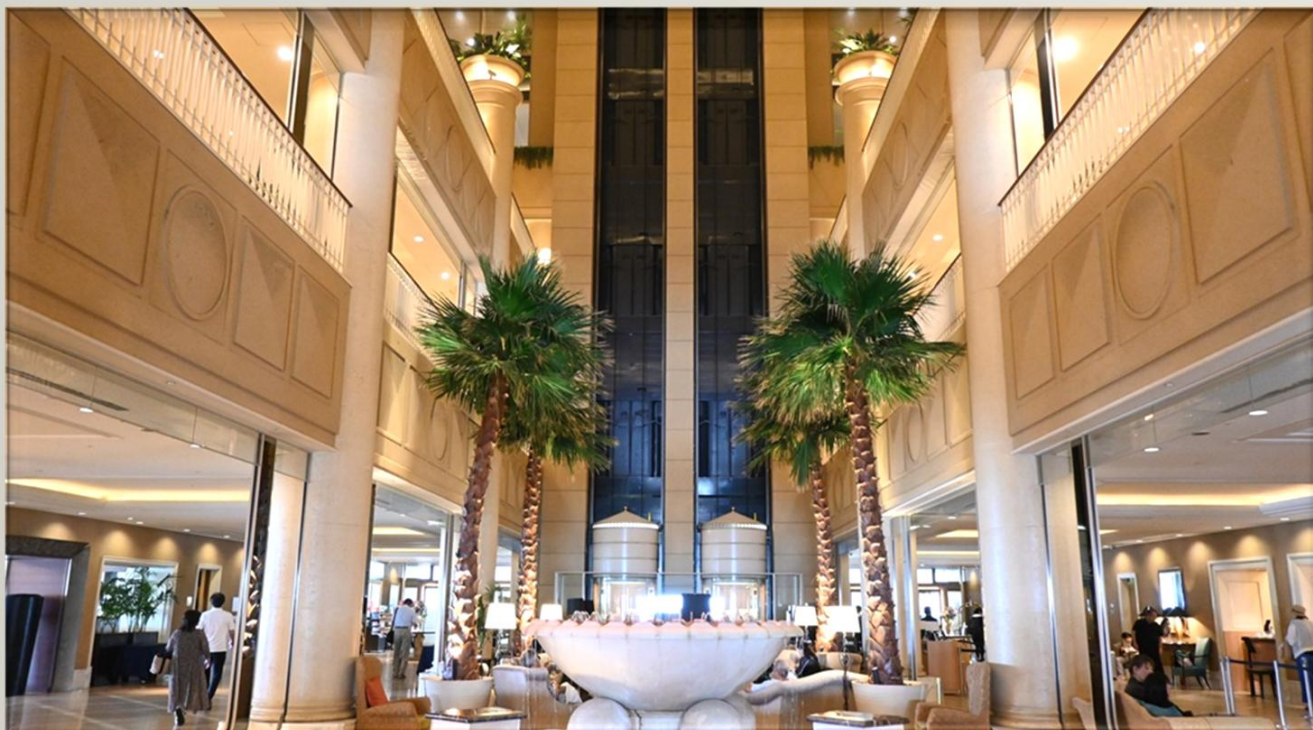


2025年

秋のさんし展



【さんし会イベント 2025.7】

メリケンパーク オリエンタルホテル神戸にて

左はポートタワー展望台からの眺望 堀居正治

今年も冊子「秋のさんし展」(紙上開催)をお届けします。重ねて、第5号となりました。皆様の日頃の精進の成果、腕自慢のご披露、生活のなかでの思い出、日頃の何気ない気付き、などがそれぞれに作品として紙面に浮かんでいます。自分でも取り組んでみたい、自分でも行って見てみたい、……、そう思うご自身の背中を押してくれる作品が展示されています。どうぞ、ごゆっくりご覧ください。

さんし会 代表 山田和夫

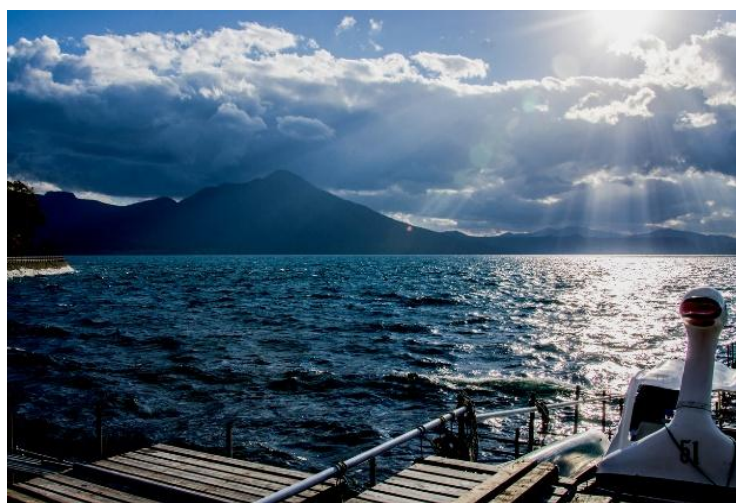
2025年 秋のさんし展

作品一覧			Page
表紙			1
作品一覧			2
写真	大橋廣史	【道南旅行の思い出】	3
写真	森田 稔	夏山登山 【鳥海山・月山】と【四国剣山】	4
写真と水彩画	梶本和男	2025年さんし会イベントから	5
水彩画	和田康博	水彩画と元写真	6、7
油彩画	戸田康幸	【奈良を描く】	8
陶芸	高橋良司	丹波・立杭の登り窯と我が作品	9
陶芸	堀居正治	陶芸を始めた理由	10、11
写真コラージュ	重谷美佐子	姫路三景	12
俳句	持永宣雄	さんし俳句会紹介 植田細布子・石川明美・上村和紀子・小坂隆・児玉清子・多田匡子・田原トミエ・近藤博子・持永宣雄・堀一郎	13, 14, 15
俳句	田原トミエ	句集【紅梅】 のご紹介	16, 17
エッセイ	山田和夫	僕のレコード棚から（4）”万国博覧会”の思い出	18
	木村好治	千里から夢洲に！！	19
	河合正之	【京都史跡ウオーク】	20
紀行文	目瀬敏明	【 韓国ソウル旅行記 】	21, 22, 23
	外山純子	【 奄美大島の旅 】	24
	外山純子	【 九州観光列車の旅 】	25
	滝沢 明	【 2025年の北海道家族旅行の騒動 】	26, 27, 28, 29
エッセイ	杉田 恵	【世界で一番貧しい大統領のスピーチ】	30, 31, 32
ちょこっと一休み	高橋良司	画像提供	33
エッセイ	新畑恵美子	【 ありがとう芦屋 】	34, 35
あとがき・編集後記		企画G山本・広報G堀居・戸田	36

【 道南旅行の思い出 】

大橋廣史

2016年に、川崎重工を定年退職してから、独身寮時代から友人関係にあった仲間と道南旅行に出掛けました。伊丹空港から千歳空港に到着し、小樽、支笏・洞爺湖、昭和新山、室蘭の地球岬まで周遊して、楽しい旅を堪能しました。北海道は、初めてだったので、本州とは違う雄大な自然を味わうことができました。特に、室蘭の地球岬から青森県の下北半島を含む、津軽海峡の眺望には感動しました。海と山々に囲まれた日本の大自然は、雄大で感動を与えてくれます。日本は、平和で歴史にある良い国だと思います。



夏山登山【鳥海山・月山】と【四国剣山】

森田 稔

古希に再開した夏山登山も9年目、今年は鳥海山・月山(7月28日～8月1日)および、四国剣山(8月20日～21日)へ行ってきました。



鉾立山登山口より鳥海山頂上を望む



鳥海山の最高峰新山(2236m)にて

羽黒山
(414m)の頂
上にある三神
(羽黒・月・湯
殿)合祭殿参拝
の翌日「月山」
へ



弥田ヶ原湿原



月山(1984m)頂上にて



剣山山容

当初計画していた「爺が岳・鹿島槍」登山道に親子の熊が出没、
急遽変更で、車で四国「剣岳」登山に！……



次郎峯(じろうぎゅう)を望む



次郎峯(1929m)
頂上にて



剣山(別名・太良峯1955m)

2025年さんし会イベントから

梶本和男

今年のさんし会イベントは7月3日にメリケンパークオリエンタルホテル神戸にて昼食会が実施され、近くのポートタワーにも行きました。そのポートタワーは2024年4月にリニューアルオープンし、屋上にオープンエアデッキが設けられました。秋のイベントは11月6日にシーサイドホテル舞子ビラ神戸にて食事会・舞子公園散策が企画されています。そこから望む明石海峡大橋の写真と水彩画です。水彩画は2021年10月、水彩画仲間と舞子に行った時に描いたものです。



1. ポートタワー

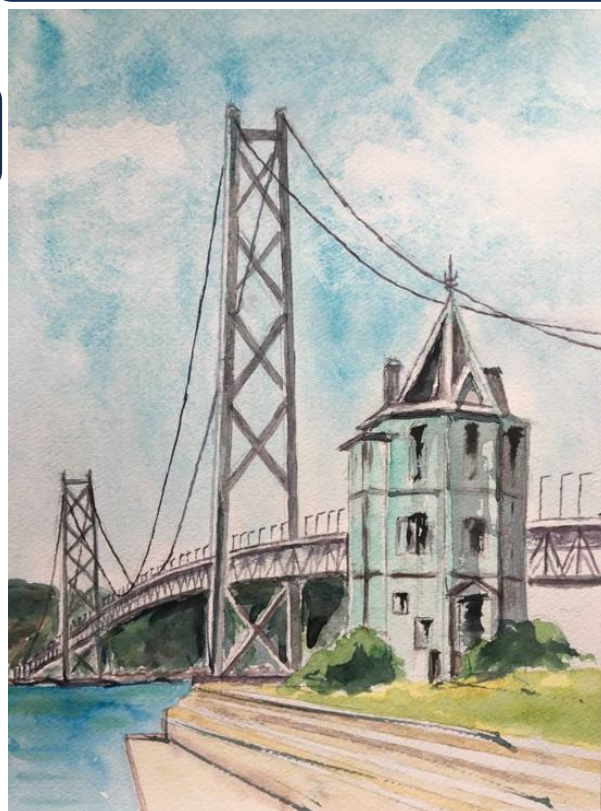
今年7月3日メリケンパークから撮影



2. 改築前のポートタワー

2021年11月神戸ハーバーランドから撮影

3. 舞子公園から明石海峡大橋と移情閣



水彩画と元写真

和田 康博

2024年から2025年の作品を展示します。芦屋の風景を10枚描ければ、水彩画は終わりにしようと思っていましたが、まだ、水彩画、続けています。



海技大学校の練習船



リ스토랑テベリーニ



芦屋教会



夕暮れ芦屋教会



芦屋警察署



鳴尾街影線宮塚町





開森橋から上流の桜



芦屋ファームからシーサイドタウン



阪急電車と桜



和田 康博

【 奈良を描く 】

戸田 康幸



山際の道

10年前、柿の実がたわわな山際の道を
友人と歩く 油彩画F15

日本最古の道、三輪から奈良市内に続く山
際の道は桜井市の「仏教伝来の地」大神
（おおみわ）神社付近から天理市の長岳寺
（ちょうがくじ）に至る約6kmの区間が散策
ルートとしておすすめ。



大神神社
（おおみわ）神社は
“神様の中の大神様”
をお祀りする日本最
古の神社



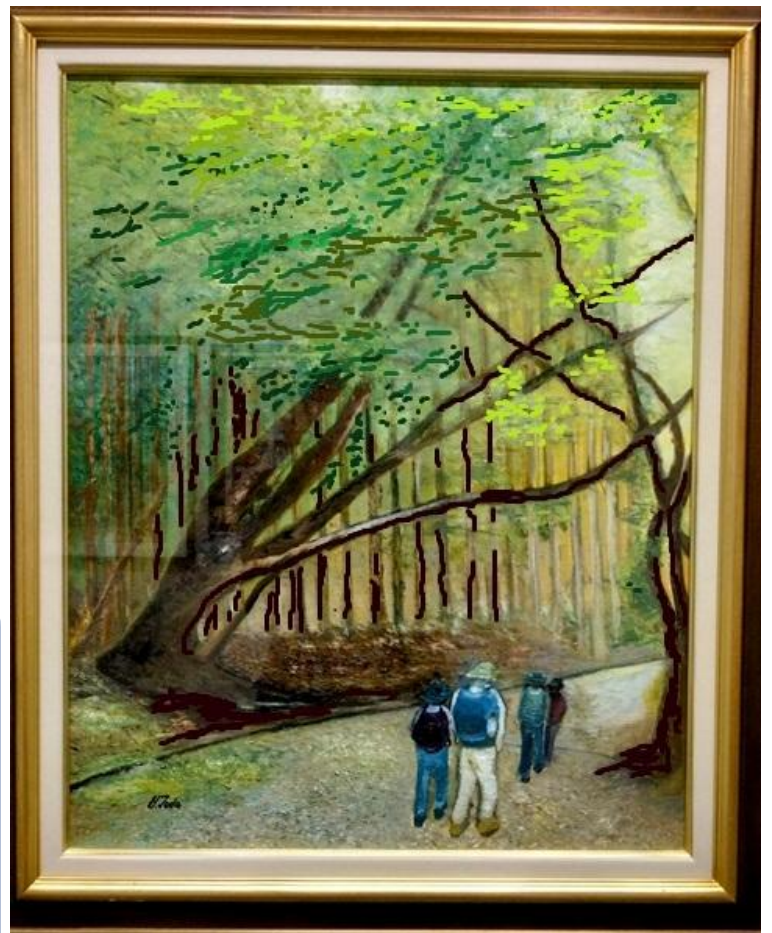
長岳寺
（ちょうがくじ）
運慶の父の作とい
われる仏像が安置
されている。
大地獄絵図開帳

一口メモ：海柘榴市（つばいち）は歌垣？

海柘榴市は桜井市にあったわが国最古の市場（いちば）であり、万葉集にも登場する古代の交通の要衝です。大阪からの水路と複数の街道が交わる場所で物資の交易が盛んに行われ、若い男女が集まって歌を詠み交わす「歌垣（うたがき）」の舞台としても知られていました。現在の海柘榴市跡には観音堂が残っています。

- ・紫草は灰さすものぞ海柘榴市の
八十のちまたにあへる子や誰
- ・たらちねの母がよぶ名を申さめど
道ゆく人を誰と知りてか

王朝以来、ここはまた長谷寺詣での宿場として栄え、「枕草子」、「源氏物語」、「かげろう日記」などにも登場します。



芦屋川カレッジ34期つつじ会で歩いた
春日山原始林 油彩画F15

春日山原始林に行く

丹波・立杭の登り窯と我が作品

高橋良司

800年以上にわたり受け継がれて来た、

丹波・立杭焼は、瀬戸・常滑・信楽・備前・越前と共に日本六古窯に

数えられている一つでもある。

蛇がまとも呼ばれ、山の勾配を活用した登り窯。

登り窯の作品は、自然釉・灰が、かかり、

絶妙な味がある作品となる。

私は、十数年前から陶芸教室に通いだし、

轆轤をまわして、無心に土と戯れている。



所詮は素人の端くれ自分なりの

個性を生かそうと思う次第です

奥深き陶芸なり

【 陶芸を始めた理由 】

令和7年8月

堀居正治

私が陶芸を始めたのは2019年、春からです。カレッジが終わって何をしようかな！と考えている時にJR住吉で神戸市がやってる陶芸教室をがある事を知りました。元々、“土いじり”は好きな方で、小学校の時は毎日泥だらけで家に帰って来た事を覚えています。(泥と粘土は違いますが！)
今の先生大西雅文先生は丹波、立杭から来られている事もあり、やる気が湧きました。立杭は日本六古窯です。焼き上がった肌の色が好きです。焰と松や二と炭ホコリが作り出す、赤、黒、白、茶色の混じった光と影のグラデーションが何とも良い感じです。私も50年前に立杭焼きの花瓶を買っていました。今は少しずつ色合いもカタチも現代風になって来ています。

毎週、若き鬼才、大西先生に会うのが楽しみです。19年暮れから20年にかけてコロナの猛威で暫く休みが続きましたが。陶芸の腕前の方は、4～5年通っていますが素人のままです。

最初は“土煉り”“菊煉り”だけで2～3年の時間が掛るそうです。
その後ロクロに入りますが、ここでも粘土の上げ下げ、“土殺し”と言いますが、やはり数年はかかるようです。土の上げ、下げを電動ロクロでするのですが、なかなか上手く中心が取れません。
チャント中心が取れて無いと作品が何か傾いていると感じたり、どちらかが高いと感じたりとか！満足感が得られません。毎回そんな感じで不満たらたら帰宅する事になります。中心を取るのには精神集中ですね！！没頭する事。ゴルフのアドレスに通ずるものがあると思っています。

電動ロクロで土殺しの中心が上手く取れば、ゴルフも上手くなるんじゃないか！なんて！！
何とか作品(茶碗、花瓶、お皿等)のカタチが出来上がった後は乾燥と素焼き工程です。
一週間で素焼きが済み。釉薬の工程になります。先生はカタチがどうであれ釉薬が一番大切と言われています。
釉薬、色付けが上手く出来れば“作品“の表情がすっかり変わります！ 私は何回も嫌な経験をしています。ここがプロと素人の差でしょうか？勿論、釉薬の種類も違いますが！先生のうつわは光り輝いています。

私は今も茶碗にトライしてます。数えられないくらいの茶碗を作りましたが風合い、重さ、色、で気に入っているものはほんの数点です。あとはすべて芦屋市の焼却場行きです。ただ自分で作った茶碗で抹茶を頂く時は“まあいっかあ！”と思いながら、何か良い事を瞑想しながら飲んでいきます。優雅ひと時です。これからも茶碗(抹茶茶碗)を作って行きます。その他はお皿、イヤープレート、植木鉢などを作っています。

まだまだ素人です。写真は何とか恰好が付いたかなと思う茶碗です。
もしも貰って頂ける方がおられましたらお譲ります。即粗大ごみ置き場行きでも結構ですよ！

陶芸を始めた理由は精神修養です。我慢する事、集中する事です。
満足できる茶碗が出来た時の気持ちわかるでしょう！！
まだ一品もありませんが！！ くっ！！



白い粘土に白の釉薬を掛けて茶碗の表側に3色の釉薬を筆に付けて振りました。内側は赤を塗り変化を付けました。表面は透明の石灰と掛けて光沢を出しました。赤色は気に入っているのですが！



再生土を使いました。表面に変化を付けてトゲトゲにしました。釉薬は黒(天目)とマンガン(黒)で色相差を出す様に考えました。茶碗の内側は白ではなく茶色にして落ち着いた感じにしました。



白土に黒、釉薬は天目。特別何も無い茶碗です。私の作った茶碗は重過ぎる傾向にあります。厚いんです。もっと薄くしなければなりません。先輩は重くて厚い方がお茶が冷めにくいよ！とかばってくれます。



白土に天目とマンガンの釉薬。表面に縦の筋を入れましたが余りデザイン効果は無い様ですね。私の釉薬の使い方は黒っぽいものが多い様です。もっと明るい色付けを心掛けます。

姫路三景 コラージュ

重谷美佐子

懐かしい姫路 : 好古園・総社三山・お城周りの川

姫路三景コラージュ

好古園
総社三山
お城周りの川



懐かしい 姫路
美佐子



1. はじめに

俳句とは何かも知らなかった初心者の私達は堀代表から手取り足取り平易な言葉で“俳句の作り方”のイロハを教えて頂きながら、スタート当初の8名は一人もやめずに全員続いており、現在は10名に増え今年発足8年目を迎えました。毎月1回の句会、年1回の食事会（新会or忘年会）、時々計画する吟行、これらが主な活動です。

<さんし俳句会のメンバー：2024年12月17日忘年会>



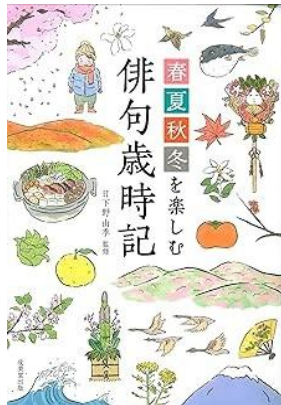
2. 月例会の様子

毎月第三火曜日に竹園集会所で句会を開きます。その場に各自3句投句し、それらをみんなで発表し合い最後に堀代表から全句を一句ずつ講評をして貰っています。句会ではみなさん自信の句を投句した筈なのですが、堀代表からは、“季語がないのでは？文語表現ちょっとおかしい？句意がちょっと不明？別の表現が良いかな？”という添削指導を受けて改めて気づく事もあります。句会の雰囲気はいつも和気藹藹でみんなの笑顔が絶えません。

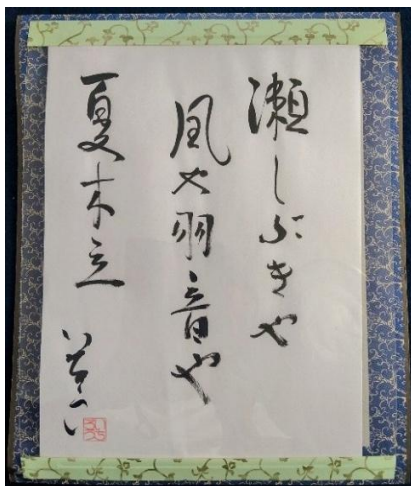
< 2025年7月15日 句会のスナップ写真 >



3. みんなの作品集



みんなの一句



堀代表の色紙

くろがねの
風鈴鳴れる
古利かな

植田
細布子

紫陽花に
介護の辛さ
語りかく

石川
明美

朝の経
終へて見上ぐる
夏の空

小坂
隆

音立てて
降る夕立に
生き返へる

上村
和起子

門灯が
一斉につき
ゆだち来る

近藤
博子

夕立や
リングの中に
かけ込みぬ

児玉
清子

街若葉
風が奏でる
シンフォニー

田原
トミエ

城ありし
赤坂の地や
田水沸く

多田
匡子

青柿を
蹴ればいかにも
硬き音

堀
一郎

暮れ泥む
六甲山の
影涼し

持永
宣雄

紅梅を

一輪そえし

祝い膳

平成十一年第一回農業センタ
I
しだれ梅まつり俳句入選

句集

紅梅

田原トミエ

序文

田原トミエ

本来、序文は、結社の主宰や先生にお願いすべきと思いますが、私の初代の師、山崎竹堂先生、二代目の師、納富はじめ先生ともすでに、他界されております。よって、自身で筆を執りました。私が、俳句を始めることになったきっかけは、平成十一年名古屋市中「第一回しだれ梅俳句大会」が開かれ、たまたま投句した俳句が入選したことです。

数日後、主宰の方から、「是非、貴女に会って話をしたい」との電話があり、私は、お会いすることになりました。場所は、梅まつりの会場にある喫茶店です。あの日は、思いのほか暖かく、窓越しに、ピンク色のし

だれ梅が鮮やかに見えました。定刻にお会いして名刺をくださったことから、席に着き改めて、現代俳句・俳句アカデミーの主宰の山崎竹堂です、と挨拶をいただきました。私も田原です、と挨拶を交しました。山崎先生から「先日入選した貴女の俳句は、まるで写真でも見ているように、祝いの紅梅がとても印象に残っております。とても良い句でしたよ」と誉めて下さいました。少し雑談をしてから、おもむろに「貴女はいつ頃から俳句をやっておみえですか」と尋ねられました。「私は週に一回くらい図書館で俳句や和歌の本を読んでいます。優しそうで、むずかしいと痛感しています」と返事をしました。すると先生は、「今、詠んでいる句は、どの位ありますか」と聞かれ、「私はノートに百句くらいはあると思います。半数は、まだ、未完成だと思っていますところですよ」と話すと、先生から「貴女には、素質があると思っています。是非とも俳句アカ

デミーに入会してほしい」とのお誘いをいただきました。先生から、「今、貴女の手元にある俳句を添削してあげますから、便箋一枚に三句、余白を開けて書いて一回に、二枚程度を郵送して下さい、私が指導を加えます。朱色のペンで採点をし、余白のところにアドバイスをする方法で指導します。必ず上達致します」とお話をされる先生の真剣な眼差しに、私は熱意を感じて、俳句アカデミーに入会することをお受け致しました。

ご指導をいただき三か月を過ぎた頃、「一応、基本的な指導は終了しましたから、来月から句会に参加するように」と、山崎先生から電話をいただきました。

俳句アカデミーの句会に参加してみると、複雑な決まり事がたくさんあり、時々、季重りの句を出し、その都度、山崎先生より適切なご指導をいただきながら、また、先輩の皆さん方が優しく接してくださり、和やかな雰囲気の中、俳句が続けることが出来ました。

私を俳句アカデミーに誘ってくださった主宰の山崎竹堂先生とは、二年余りと短い師弟関係でしたが、その間に多くの基礎知識を丁寧にくさん学ぶことが出来ました。

私は、いつしか感謝の気持と共に「バトン」を託されたような気がして、真剣に俳句を続ける覚悟が出来たような気が致しました。

以来、二十五年にわたり、勉強を続けてまいりました。令和七年春に、卒寿を迎えるにあたり、これまでに詠んだ俳句の中から「本」と言う形で残したいと思い、今回、句集を発刊する決意を致しました。

拙い俳句ですが、今後ともご指導の程よろしくお願い致します。

句集 (抜粋)

追悼句 平成十三年

初時雨恩師を慕う泪かな

師を求めて 平成十四年

師を求め春の講義で焚火誌へ

句碑序幕 平成十五年

句碑序幕蝶も舞きて祝いけり

平成十七年度角川全国俳句大会入選

鮎の宿瀬の音遠くまた近し

角川協賛俳句のくに三重県 福井県賞

鯊日和少年すでに釣り師の目

今朝の春 平成二十四年

健やかに喜寿を賜り今朝の春

風の盆 平成二十六年

風の盆旅情高ぶる路地の奥

令和の句

ラムネ抜く解き放されし泡の音
卒寿まで少しベンチで日向ぼこ

句集発刊にあたり、表紙の色を何とか卒寿らしい色彩にと苦勞し、やっとの思いが叶い安堵して発刊に至る事ができました。

僕のレコード棚から(4)“万国博覧会”の思い出

山田和夫

この四月に開幕した大阪・関西万博は、連日大勢の人が訪れて盛況のようである。自分とは言えば、この万博には関心のあるテーマも展示も見当たらないので、未だ足が向かずにいる。

実は、55 年前に大阪・千里丘陵で開かれた日本万国博覧会(テーマ「人類の進歩と調和」)へは、泊りがけで連日閉門まで見学したものであった。

学生時代で何事にも興味関心高く、暇もあったといえればそれまでだが、この時会場で見聞した「万国」からの展示やイベントには、未だに強い印象が残る。アメリカ館の、前年に月探査船アポロが持ち帰った「月の石」の展示が、その代表だ。

この万博は“音楽の祭典”万博と別称されたほど、会場内外に世界各国の音楽が流れていた。ラジオでは連日、「♪今日は、こんにち、世界の国から…、1970 年のコンニチハ…」と三波春夫や坂本九らが歌っていた。特に音楽を自分の趣味として愛好し始めていた時期でもあり、「音楽の博覧会」としての思い出が、深い。

ドイツ館は「音楽の花園 (Musikgarten)」館とも呼ばれ、この年はベートーヴェン生誕 200 年にもあたっていて、館内ではベートーヴェンの音楽が流れ、コンサートも催されていた。ソ連館ではチャイコフスキー愛用のピアノも展示されており、ピアノ協奏曲第 1 番変ロ短調が流れるなか、多くの愛好家が聞き入った。

この万博に記念来日した演奏家も多彩で、ポピュラー界では、テレビで人気のアンディ・ウィリアムス、エド・サリバン(ショー)、シングルシンガーズ、メリー・ポプキン、……。クラシック界では、カラヤン、バーンスタイン、セル、リヒテル、ムラビンスキー、ロストロポービッチ、……。

各国の民族音楽演奏家からクラシック音楽家まで来日し、会場やコンサートホールで多くの人が「万国の音楽」に酔いしれた。これらをすべて聞くことは当然適わなかったが、自分もその会場に立ってあの著名な音楽家たちとこの場所で同じ空気を吸ったということだけで、大きな満足感に浸っていた。

そんなことを思いめぐりながら、今、手元に当時の「EXPO'70 公式ガイドブック」を置いている。開いてみる。あの頃みた「真夏の夜の夢」が、蘇る…… 山田和夫
(この小文は、さんし音楽鑑賞会 2025 年 3 月度例会でお話をしたことをまとめたものである。)

写真 1 「1970 年 日本万国博覧会 公式ガイドブック」とドイツ館のページ ドイツ館を訪問した来館記念のスタンプが押してある。



写真 2 ドイツ館で頒布されたLPレコード(ドイツ・グラモフォン盤)。
カラヤン指揮 ベルリンフィルハーモニー管弦楽団によるベートーヴェン序曲集など
裏面に、「1970 年の万国博覧会ドイツ館へ来館の記念として」と記載されている。



千里から夢洲に！！

エッセイ

木村好治

1970年万博、大学一年生春、6日間かけて119のパビリオンを全部見ました。アメリカ館とソ連館は3時間並んだ記憶あります。

当時の入場料800円、私は学割600円で入場。

館内の食堂が高かったのでパンと水で9時から9時まで12時間廻りました。

それから55年の歳月が経過また大阪に万博が！

24000円で通年パスを購入し外国167と国内32のパビリオンを全部見るのに10日かかりました。167と言っても96ヶ国はコモンズ。

アメリカ館の月の石55年前は一人でしたが今回は小学生の孫と！

1970年、月の石見て自動車学校入学、55年後も同じ自動車学校へ。

2025年は高齢者講習。

外国パビリオンはイタリア、アイルランド、ベトナム、ポーランドの印象強い。

国内は大阪ヘルスケア、国内パビリオンはどこも予約、予約で全部入るのに苦労しました。7日前抽選3日前予約もダメ、阪急芦屋川5時17分の始発、夢洲到着6時半。2時間半待って9時入場ゲート通過で即当日予約しないと無理。

国内パビリオン入場困難ブラックリストも作成。

大屋根リング一周しましたが、やはり面積は1970年の半分以下。

これが1970年の入場6400万人、

2025年の目標2800万人に直結。

1970年にはボディチェックや手荷物検査は皆無！

写真は最後に入ったミャクミャクパビリオン。

1時間待って数秒で写真撮影それで終わり。



【 京都史跡ウォーク 】

河合正之

今日(2025.5.18)の京都史跡ウォークのテーマは「出水七不思議と北野七保を訪ねる」でした。平安京跡地の内野公園→福勝寺(秀吉が武運長久を祈願し瓢箪を奉納)→観音寺の百叩きの門(伏見城の牢獄門を移築、罪人が釈放される際に門前で百回叩いた)→極楽寺の三つ門(通常は一つの小袖門が2つある珍しい門)→法輪寺(八千体の達磨像が奉納)→北野天満宮御旅所(北野天満宮が創建されて、この地が御旅所に定められた)→文子天満宮跡(菅原道真の乳母を祀る)→一之保安楽寺(筑紫から道真の霊を迎えて祀る)→大將軍八神社(陰陽道、道教における方位、厄除けの星神)→北野天満宮内の文子天満宮を巡りました。9時から12時半まで歩きましたが、大変蒸し暑く、さすが疲れ、仲間と北野天満宮前の蕎麦屋で食事をして一息つきました。



百叩きの門

極楽寺の三つ門
(両小袖門)

法輪寺(だるま寺)



北野天満宮御旅所



文子天満宮跡

【韓国ソウル旅行雑記】 目瀬 敏明

6月30日(月)から3泊4日の韓国(ソウル)観光に夫婦で行った。スケジュールは妻が練った。関西国際空港第2ターミナル出発の格安ツアー(往復の航空チケットと滞在中のホテル宿泊のみセット)のピーチ・アビエーション航空利用である。飛行機賃は諸税入れて二人で¥68,480。韓国語は聞く事も話す事も書く事も全くできない。現地の地図を日本語表記で教えてくれるKONEST(韓国地図)アプリ、日本語と韓国語を翻訳してくれるGoogle翻訳アプリを携帯電話に入れ、現地でWiFiや通信アプリが使えるようにアマゾンでeSimを購入。最新のガイドブック「ソウル完全版2026:JTBのMOOK ¥1,210」を買い、2022年に購入した「旅の指さし会話帳⑤韓国(韓国語)【第3版】:株式会社ゆびさし」も持って行く。

ソウルのホテルで3連泊のツアーであるが、韓国の古都の街並みを見ようと、2日目は全州(チョンジュ)のゲストハウスを予約。宿泊費は二人一部屋食事なし6,507円。出発2日前から受付の「電子入国申告書」を「韓国政府ホームページ」で済ませて、準備万端。ガラガラの旅行鞆と機内持込みのリュックを背負い、08:20発関空行き「午前最終」のリムジンバスに乗った。快晴。車高が高いので高速道路からUSJ、万博会場のある夢洲等眺めが良い。往復運賃一人3,700円。KIXの第2ターミナル着。カウンターの手前にある「自動チェックイン機」で予約番号入力。次いでピーチ・アビエーションカウンターで搭乗手続き、航空券を受取り、鞆を預ける。韓国では乗り物ほか支払いは前払いのデビットカードかクレジットカード決済が主流で、現金は殆ど使わないと聞いていたが、念の為、ウォンに両替。
¥10,438→w85,000。



ソウル市街

12:25飛行機は予定通り離陸。14:20ソウル仁川(インチョン)国際空港に到着、時差無し。入国審査を経て荷物受取、外に出る前にeSimの回線切替をするが切り替わらない。空港の椅子でサポートセンターとやり取りすること2時間半。諦めて妻の携帯のみ現地の「物理的SIM」を購入(w16,500)し、ホテルで再度トライすることにして空港を出た。空港コンビニで交通カードT-moneyをw500で購入。これに現地マネーをチャージし、タッチ決済。ICOCAと同じ。チャージは切符の自販機かコンビニでも可能。17:55発Nowon行空港リムジンバスに乗る(w18,000)。

ホテルはNOBLESSE TOURIST HOTEL。口コミの評判は良くなかったが、日本語の話せるスタッフが対応、駅近、部屋も広く清潔で寝るだけの我々には問題無し。ホテルは4号線と7号線が連絡するNowon蘆原(ノオウン)駅No.713から徒歩5分にある。

二日目。地下鉄で高速バスターミナル駅まで移動。ソウル市内は地下鉄網が縦横無尽に張り巡らされており、路線番号と駅番号が表示されていて分かり易い。高速ターミナル駅No.734、明洞駅No.424、ソウル駅No.426これでハングルが読めなくても乗り降りできる。ホテルから路線図を見ながら地下鉄7号線No.713発No.734下車。地下道を歩き高速バスターミナルの受付へ。言葉が話せないで翻訳アプリで「全州(チョンジュ)行チケットを2枚下さい」とで音声翻訳。通じたのか2枚のチケットをクレジットで払い受け取る。09:15すぐに出るからと急がされ指定座席番号に座る。調べた金額w15,000より高くw27,200。理由は「高級」高速リムジンバスであり、乗車時間は同じでも座席間隔は広くリクライニングシート、モニターテレビ付き。快適で前夜のSim回線の接続問答の寝不足解消にはなった。後で分かったのだが、カウンターでは一番早く出発する便を案内するらしい。

10:50全州到着、全州市にある“**全州韓屋村**”は日本の京都のような歴史を感じさせる街並みが保存されている古都で、**特に瓦屋根の韓屋(ハノク)**が160軒以上も密集している観光地。予約した韓屋は”太祖路“メイン通り入口のインフォメーションから3軒目の建物。

すぐ近くに”**梧木台**“(オモクテ:1380年太祖・李成桂(イソンゲ)が南原の荒山で日本軍との戦いに勝って戻る途中、勝利の宴を開いた所)があり、韓屋村が一望できる絶景スポットであった。平日で観光客もまばら。東洋で最も美しい聖堂の一つと言われる”**殿洞聖堂**“(チョンドンカトリック教会:1907年から1914年にかけて建設され、朝鮮時代に殉教したカトリック教徒たちを称えるために建てられた聖堂)”や”**豊南門**“(ブンナンムン:全州城の南の門、四大門の内唯一現存していて宝物308号に指定)をぶらぶら散策する。夕飯はクッパとビビンパと瓶ビール。安くて美味しい。



全州韓屋村
の瓦屋根

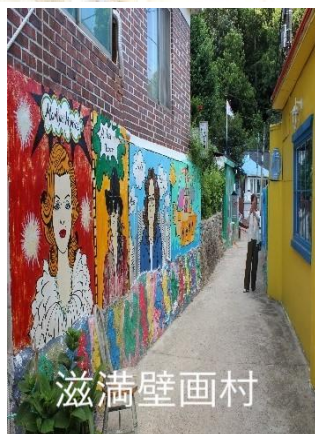


梧木台
(オモクテ)



殿洞聖堂

三日目。朝食はパン、ハム、コーヒー、ジュース果物のサービス。“**滋満壁画村**”(チャマン壁画村:朝鮮戦争の時、避難民が集まって作られた貧民街に美しい壁画が描かれて有名になった所)、“**全州郷校**”(チョンジュ・ヒャンギョ:1354年に始まった朝鮮時代の教育機関、韓国映画や韓国ドラマのロケ地・撮影地としても有名)を外から眺め、“**慶基殿**”(キョンギジョン:朝鮮王朝を建国した李成桂の公式肖像画{御真オジン}を飾るために1410年に建てられた建物)入場料大人w3,000。韓服姿のカップルが訪れていた。



滋満壁画村



全州郷校



慶基殿

昔からあるという東部市場で昼食をと訪ねたが潰れており断念。通りの食堂で昼食を済ませ、全州長距離バスターミナルで”普通“高速リムジンバスの切符を買い、13:50発15:20東ソウル高速バスターミナル駅到着。運賃はw16,700。これは下車駅を間違えた為、少し苦勞して明洞駅まで移動し、**南山ソウルタワー**を目指す。方角が分からず、近くの人に聞くと親切に教えてくれた。「ナムサンタワー？」で通じた。タワーまで歩く選択肢があったが、その元氣なく斜行ケーブル利用で、ロープウェイ乗場へ。往復w15,000。ロープウェイ降り場からタワーまでの間の広場には韓国ドラマで有名な**南京錠**が、柵や階段柵に処狭しと取り付けられていた。南山タワーから**市内一望**も今回の目的の一つである。聳え立つタワーの入口で順番を待ち、展望台へ。w26,000。郊外の超高層マンション、住宅街、ソウルの街が良く見えた。展望窓に示されているのは、世界各国の国名であり、ここを中心に世界が広がっていた。



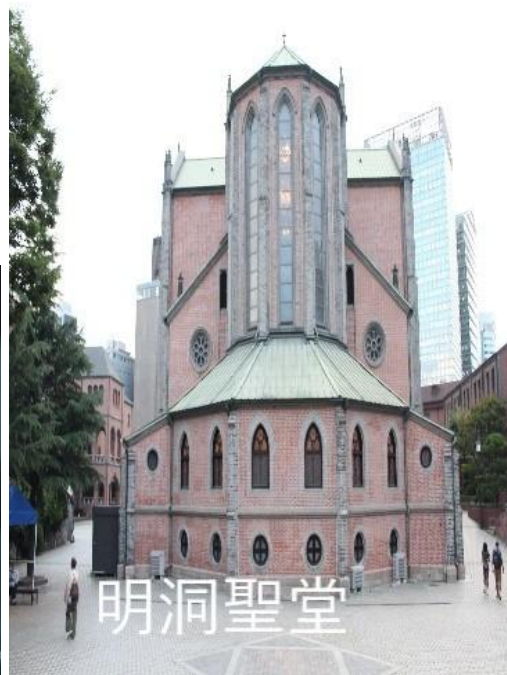
南山タワー



南山タワーの
南京錠



南山ソウルタワーから
見たソウル市街



明洞聖堂

東京まで1164,19kmと書いてある

南山ソウルタワーをあとにして明洞の繁華街へ。明洞聖堂を訪問。静かに祈っている方がおられたが、聖堂の中は広々としてステンドグラスも大変美しくほっとした時間を得た。明洞の街は以前と変わらず賑やかで大勢の人々が行き交っていた。化粧品やぬいぐるみなどの小物の店、携帯電話関係商品の店など。言うまでもなく飲食店がずらりと並んでいる。夕飯は路地裏の店で鶏丸ごと鍋(タッカンマリ)を食べた。瓶ビールとアルミのコップでマッコリを飲む。料理と合う！この店はクレジットが効かず、手持ちのウォンと日本の¥1,000で払えた



鶏丸ごと鍋



マッコリ

四日目。無理をせず、仁川(インチョン)空港行きの列車の始発駅のSeoulソウル駅で買い物してからA' REX空港鉄道の直通列車に乗る。料金はW13,000。仁川空港には第1ターミナルと第2ターミナルがあり、ほとんどの人が第1ターミナルで降りたが、自分たちは第2ターミナルで搭乗手続きするものと思い込んでおり、第2ターミナルで下車。空港の建物でピーチのカウンターを探すもどこにも見当たらず、ターミナルを間違えたことに気が付く、空港鉄道では戻れない。搭乗手続き開始の2時間前であり大いに慌てた。インフォメーションに居た年配の係員に翻訳アプリで第1ターミナルに行く方法を尋ねるとシャトルバスが出ているからそれに乗れと身振りで教えてくれた。それらしきバス停に行くと同じようにターミナルを間違った日本の二人連れの男性旅行客がおり、1時間を切っていると言う。20分ほどしてようやくバスが来て乗れた。「間に合いますよ！」とお互いに励ましあったが、心中穏やかでは無かったに違いない。10分ほどで第1ターミナルに到着、大慌てで15:20発の帰国便の搭乗手続きを済ます。先ほどのグループも無事チェックイン出来たようであった。ソウル駅の“ロッセマートソウル駅店”で買ったお土産の海苔や調味料、お菓子で鞆の半分は埋まった。17:10関空に予定通り戻ることが出来た。道中は快晴で少し暑かったが、行きたかったレトロな街並みの仁寺洞(インサドン)・益善洞(イクソンドン)や観たかったキッチンを舞台にした「NANTA(ナンタ)明洞劇場」のショー等予定を変更しながらだったが、次回の楽しみを残した旅行となった。

目瀬敏明



空港鉄道

奄美大島の旅

紀行文

外山純子

2025年2月8日から2月11日



ある雑誌に素敵なホテルの写真と記事が掲載されていました。検索すると 想像以上に素晴らしくアクティビティも色々あり楽しそうなので、早速3泊予約しました。独り旅を予定していましたが、長男夫婦・次男夫婦・娘夫婦等とのグループlineに旅のプランを伝え、全員が仕事の都合をつけて参加してくれる事になりました。二月の寒さから逃れて旅の始まりです。航空券を予約するとスマホにQRコードが表示されて空港でQRコードをかざすと手荷物も搭乗もスイスイ出来て、初めての体験でした。奄美空港ではQRコードは使えず従来通りです。空港からホテルまで送迎サービスもありますがレンタカーを借りました。



海沿いのホテル
・ミル奄美



部屋の入口



バルコニー



原生林に生い茂る
ヒカゲヘゴ

貴重な貴重な保護植物が生い茂る金作原生林を一時間ほど散策して、奄美名物鶏飯のランチ。マングローブカヌー乗り場に向かいました。カヌー乗り場で体験者の中で最高齢と言われ流石に漕ぐのは無理で、ガイドの方にお願しました。翌日はホエールウォッチング・ダイビング田中一村美術館・あやまる岬などそれぞれに楽しみ、私は田中一村美術館に行きました。



カヌーを楽しむ



田中一村美術館



最後の夕食は七人全員で楽しみ良い思い出と余韻につつまれて眠りにつきました。翌朝、それぞれに伊丹空港と羽田空港に向かい帰途につきました。



夕食

九州観光列車の旅

外山純子

2025年6月29日から7月1日

☆A列車で行こう 懐かしいジャズの名曲を聴きながら熊本から三角まで
シャンパンを片手に・・・？



三角駅に到着したA列車



ロゴマーク越しの運転席



ロゴマーク越しの景色



☆ゆふいんの森
・湯布院から博多



☆ある列車 ・博多から湯布院



冷たいスープで始まるランチ



湯布院の静かな湖 ・金鱗湖

【2025年の北海道家族旅行の騒動】

滝沢 明

手術室は思ったより広かった。

これから頭に100円玉くらいの穴をあけて血腫を取り除く手術をしようと思うと、緊張しないわけがない。部分麻酔と言っていたので手術の様子が分るのだろうか？頭に穴をあける時はどんな音がするだろうか？

悩む暇もなく、容赦なくバリカンで頭髪を刈られ始められた。手術室にはアップテンポのBGMが流れていて、不思議なことに、それがやけに心を落ち着かせた。看護師さんが「眠くないですか？」と聞いてきて3度聞かれたのを覚えていたが、それからは記憶がなくなった。目が覚めた時には手術は終わっていた。

外で待っていた家族に聞くと、1時間ちょっと経過したようだった。お医者さんから1時間はかからないと言われていたので、手術がちょっと長くなって、心配していたようである。

前夜北海道千歳空港から関西空港への最終便で芦屋に帰ってきた。

一晩家で過ごし、北海道の北見市の赤十字病院でもらった紹介状を持って、西宮の渡辺病院に受診に行った。受付の方から「予約がなければ時間がかかりますよ」と言われた割には早く受診の順番がきた。持参した紹介状の効果かもしれない。

「手術するか、しないで様子を見ますか？」とお医者さんから選択を迫られた。

手術しなければ、車の運転は禁止、その他やいろいろな危なそうな話を聞いて、実際は手術するしかない、一択の選択だった。覚悟を決めると、話は早かった。

一旦家に戻る余裕も与えられず、すぐ手術することになった。

今年の夏は家族で北海道に旅行することを計画した。飛行機はマイルを使って行くので、予約枠が埋まらないうちに、また娘が会社の休暇を確保するためにも、早くから計画をした。2月には日程を決めた。今回はレンタカーを借りて道東でのんびり過ごそうと釧路湿原や霧多布湿原、厚岸のあやめが原や原生花園をめぐる計画にした。花を見ようとするすると6月下旬から7月上旬、7月2日からの日程を組みました。

順調に旅が進み、5日目 ずっと私が車を運転していたが、虫の知らせか、昼から娘に運転を代わってもらった。その夜ホテルでの食事の時、係の人に「お手拭きをください」と言おうとしたところ「オフエフヒ」と言葉を上手く出せない。意識して口を動かそうとしても言えない。突然口レツが回らなくなった。先ほどまで何も異常がなかっただけに、あせった。家族は本人より驚いた。「左の口角が下がっている」「左手が上がっていない」「さっきも左手で持った物をを落とした」病院に行こう。となったがその日は日曜日の夕方、しかもリゾートホテルの回りにはなにもない。ホテルに相談すると、救急車を呼ぶことを勧めてくれた。救急車が到着するまで、名札に若葉マークのついた担当の方が血圧を測り、熱を測り、身体の運動機能をチェックしてくれた。聞くとホテル勤務では新人だがこの間まで札幌で看護師をしていたとのことだった。道理で判断と手際が良かったはずである。その元看護師さんに随分救われました。ほどなく救急車がきて、車中で向かう先が40kmも離れた北見市の赤十字病院に決まった。救急車の車内でもホテルの担当の方が確認してくれた一連の応急作業が行われた。妻が救急車に同乗し、娘は4才の孫を連れてレンタカーを運転して後を追ってきた。CTとMRI検査を受けた。先生から転んで頭を打ったことがないか聞かれた。頭の右側に血が溜まっている。とのことだった。画像を見るとすぐわかる影があった。慢性硬膜下血腫と診断された。「早く旅を切り上げて芦屋に帰ったほうがいい」緊急手術？などと考えていたので、そうでなかったのも、少し安堵した。帰って診てもらう病院を決める段になって、家は芦屋だと告げると「西宮に大学同期の医者がいる。彼なら大丈夫」と勧めてくれた。それまで違う病院の名前が浮かんできていたが、強い縁を感じ、勧めてくれたお医者さんの

いる西宮渡辺病院でお願いした。後で聞いた話では 先生はその場で西宮に電話して頼んでくれたようである。

診察が終わりホテルに帰ることになったその道は街灯もなく真っ暗だった。道の両端に除雪車用の矢印の標識が設置してあり、それが車のヘッドライトの光を受けて浮かび上がり、道路の境界を教えてくれた。標識は行く道を示して案内してくれた。娘はこれがあったから慣れない夜の道を病院にたどり着けたと話した。

ホテルに帰って、旅を切り上げて早く芦屋に戻る方策を考えた。

サロマ湖から千歳空港までは320km、5時間弱、娘一人で運転するとなると慎重に運転していかなければならない。孫がいるので小刻みな休憩も必要である。

しかし、一番のネックは4人の飛行機の予約変更。都合よく変更便を予約できるか？マイルの搭乗券をキャンセルして新たにチケットを買えば20万円以上の追加支出。概略調べて明日朝決めようと、遅い就寝となった。

朝起きて、その日のうちに芦屋まで戻るのは千歳空港までの距離や航空券の手配など、無理があるので、このホテルでもう1日過ごして翌日帰る日程に決めた。飛行機は関西空港への最終便に4人全員変更できた。不思議とその便だけ空いていた。予約して安心していたら、飛行機預けのスーツケースの引き出しに手間取ると、電車では大阪までしか行けないことがわかった。道理でこの便だけが空いていたわけである。最後の手配 MKの空港タシーを予約ができた。これでようやくスケジュールがつながった。

決まると胆が据わった。その日は朝食後近くのワッカ原生花園を散策し能取岬をドライブし、サロマ湖を一望できる展望台に行き、のんびり過ごした。長湯は怖くてできなかったものの、温泉も楽しんだ。体調は悪化することはなかった。

翌日北海道の最終日、飛行機が最終便で慌てる必要がなくなったので観光スポットを休憩がてら立ち寄りながら、千歳空港を目指した。ラーメンで有名になった上川町でラーメンを食べ、美瑛・富良野を経由して、行きたかったお店でスイーツも食べた。千歳に17時ごろに戻った。晩ごはんは北海道の初日に昼ごはんを食べて旅をスタートさせたお寿司屋さんに寄った。平日のまだ17時過ぎだというのに店は満席だった。お店の配慮で席を作ってくれた。安くておいしかった。これでビールが飲めれば最高だが、飲もうなんて微塵も思えなかった。千歳20:25発 関空22:30着のANA便に乗り込むとモヤモヤした不安が一気になくなった。

これで助かる。

手術は無事終わり、翌日頭の中に差し込んでいたチューブを抜いて縫合した。縫合といってもホッチキスの親分でガシャガシャと打ち込むのだった。抜糸するまで1週間入院だと言われ、その後脳血管疾患のリハビリを受けたが、成績優秀で早く退院できそうな話になった。

それを家族が猛反対した。「週末に退院して土日に何かあったら取り返しがつかない」

結局6日間の入院となってしまった。退院した日の晩ごはんはとビールは格別だった。

今回の旅の思い出に残る場所

①釧路湿原展望の遊歩道 中間のサテライト展望台は湿原を見渡せた。1時間の歩き



今回の旅の思い出に残る場所

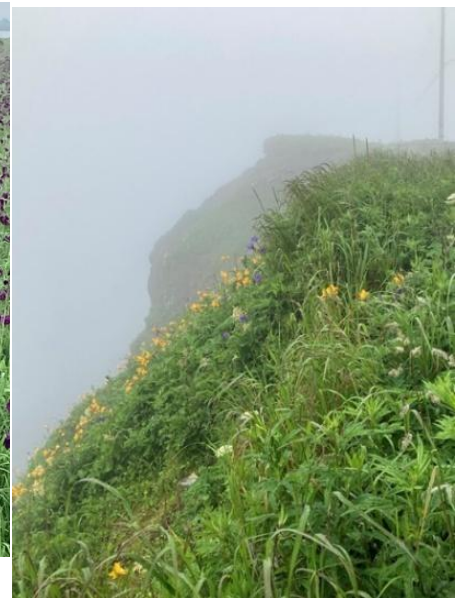
②温根内ビジターセンターからの木道 湿原内を歩く 快適なコース。1時間の歩き共に4才の孫がよく歩いた。



今回の旅の思い出に残る場所

- ③あやめが原(厚岸)霧のなかでのあやめが群生 最盛期はちょっと過ぎていた
- ④霧多布湿原 エゾカンゾウの黄色の群落を期待していたが、シカの食害でほとんど見られず、そのかわり見たこともないヒオウギアヤメの紫の大群落が広がっていた
- ⑤霧多布岬 霧の中でもエゾカンゾウの黄色が映えていた

写真 ③左 ④中 ⑤右



- ⑥摩周湖 霧の摩周湖、今の若い人にはわからない。少し霧がかかっていた。



- ⑦屈斜路湖展望台 北海道で一番好きな風景 美幌峠展望台のほかツアーでは行かない津別峠や藻琴山展望公園からも眺めた。一見の価値あり



⑧神の子池 コバルトブルーの透明度の高い小さな池 主だった観光地から離れ大型バスが近くまで入れないので意外と人は少ない



⑨宇宙展望台(清里町) 小さな展望台だが、そこから見える斜里岳から知床連山、畑のジャガイモ畑の白い花、麦畑の黄色が素晴らしかった。マイナー過ぎて他に観光客はいなかった



⑩メルヘンの丘(女満別) 7本のカラ松が並ぶ風景 空港に近いので人が多い

⑪四季彩の丘(美瑛)
今や定番の観光地。大型バスが連なって入ってくる。インバウンドだらけ。何回も訪れているが、初めて駐車料金と入場料を払った。



世界で一番貧しい大統領のスピーチ

杉田 恵

芦屋川カレッジ34期が始まる直前の2016年12月から2017年3月、神戸港から104日間南半球クルーズに出ていた。この旅で私は観光よりも寄港地の国の歴史、文化や人々の生活を知りたいと思い、現地の女性の活動や移民一世の方の話を聴いたりした。

PEACE BOAT
93rd Global Voyage 2017.01.25
With Pepe Mujica, in Montevideo



その中でも印象深かったのが、南米ウルグアイモンテビデオ港に停泊した時の事、ホセ・ムヒカ元ウルグアイ大統領が古いブルーのワーゲンをご自身で運転して奥様と二人で私達の船にいらした時のことです。世界で一番貧しい大統領と云われたムヒカさんは2012年ブラジルで開かれた「国連持続可能な国際会議」で、又、日本にも2016年に来日し、広島平和記念資料館にも訪れスピーチをされました。そのスピーチの中で一番心にささったのは

「貧しいという事は少ししか持っていない事ではなく、持っているのに、もっともっと、満足する事なく欲しがる事」 という言葉です。



ムヒカさんは幼い頃父を亡くし、軍事政権中は獄中生活も経験、2010年に大統領に就任。在任中は給与の大半を寄付し、公邸に住まず、自宅からワーゲンで通勤、国民からは”ペペ”と呼ばれ、国と国民のために人生を捧げた。

『人生は短くあっという間です。命より大切なものはありません。物を欲しがれば。使ったお金のために働かざるをえなく自由がなくなる。幸せな人生、重荷を背負ってはいけない。自由に暮らすためには物を欲しがらず、世の中に惑わされず自分をコントロールできる人に。』



今も地球上ではあちこちで戦争が続いています。日本は80年もの長い間戦争の無い国です。これは大勢の人々の努力の賜物です。これからも次、そしてその次の世代にも平和が永遠に続く事を願ってやみません。

ムヒカさんは2025年5月13日89才でお亡くなりになりました。
ご冥福をお祈りします。

ムヒカ大統領のスピーチは子ども向け絵本として出版されています。一部抜粋してご紹介します。

絵本「世界でいちばん貧しい大統領のスピーチ」
2014年3月 初版
発行 緑汐文社

スピーチの全文はユーチューブでも見れます。

貧乏とは少ししか持っていないことではなく、無限に欲があり、いくらあっても満足しないことです。人類の幸福とは何か、深く問いかける絵本





いまの文明^{ぶんめい}は、わたしたちがつくったものです。わたしたちは、もっと便利^{べんり}でもっとよいものを手に入れようと、さまざまなものをつくってきました。おかげで、世の中はおどろくほど発展^{はってん}しました。

しかしそれによって、ものをたくさんつくって売ってお金をもうけ、もうけたお金でほしいものを買ひ、さらにもっとたくさんほしくなってもっと手に入れようとする、そんな社会を生み出しました。

いまや、ものを売り買いする場所は世界^{せかい}に広がりました。わたしたちは、できるだけ安くつくって、できるだけ高く売るために、どの国のどこの人々を利用^{りよう}したらいいだろうかと、世界^{せかい}をながめるようになりました。

人類^{じんるい}がほらあなに住んでいた時代^すの生活にもどろう、と提案^{じだい}しているのではありません。時代^{じだい}を逆もどりさせる道具^{ぎやく}を持つと言っているのでもありません。

そうではなくて、いまの生き方をずるずると続けてはいけない、もっとよい生き方を見つけないといけないと言いたいのです。わたしたちの生き方がこのままでよいのか、考え直さないといけない。そう言いたいのです。

古代^{こだい}の賢人^{けんじん}エピクロスやセネカ、そしてアイマラ民族^{みんぞく}は、つぎのように言いました。

「貧乏^{びんぼう}とは、少ししか持っていないことではなく、かぎりなく多く^{ひつよう}を必要とし、もっとももっととほしがることである」

このことばは、人間にとって何が大切かを教えています。

わたしが話していることは、とてもシンプルなことです。

社会^{はってん}が発展^{はつ}することが、幸福^{こうふく}をそこなうものであってはなりません。発展^{てん}とは、人間の幸せ^{みかた}の味方でなくてはならないのです。

人と人とが幸せな関係^{かんけい}を結ぶこと、

子どもを育てること、

友人を持つこと、

地球上^{ちきゅうじょう}に愛^{あい}があること――

こうしたものは、人間が生きるためにぎりぎり必要な土台^{ひつよう}です。発展^{はってん}は、これらをつくることの味方^{みかた}でなくてはならない。



※参考資料：絵本「世界でいちばん貧しい大統領のスピーチ」一部抜粋

ちょこっと ひと休み

BY 高橋

大谷翔平 パワーが湧く言葉

- ① 成功するが失敗するとか
僕には関係ないです。
やってみることの方が大事。
- ② 悔しい経験がないと
嬉しい経験ありません。
- ③ 先入観は、可能を
不可能にしてしまいます。
- ④ 無理だと思わないことが一番大事。
無理だと思ったら終わりです。
- ⑤ 他人がボイって捨てた運を拾っているんです。
- ⑥ 入って変わる時は、本当に一瞬で変わる。
- ⑦ 人生が夢を作るんじゃない。
夢が人生を作るんだ。



18歳と81歳

人生にうまくつくのが18歳
小石にうまくつくのが81歳
ドキドキが止まらないのが18歳
動悸が止まらないのが81歳
恋で胸を詰まらせるのが18歳
恋で胸を詰まらせるのが81歳
研で喉を詰まらせるのが18歳
恋に溺れるのが18歳
恋に溺れるのが81歳
心が高ぶる18歳
腰が高ぶる81歳
心が高ぶるのが18歳
骨が高ぶるのが81歳
人の話を聞かないのが18歳
人の話を聞かえないのが81歳
道を暴走するのが18歳
道を逆走するのが81歳
自動車免許を取るのが18歳
自動車免許を返納するのが81歳
何も知らない18歳
何も覚えていない81歳

画像提供：広報G 高橋良司

窓越しに赤トンボが飛び、ツバメが飛び、なんと不思議な季節でしょう。と眺めているステキな時間です。皆様お変わりなくお過ごしのことと思います。私事ですが令和5年3月に37年間過ごした大好きな芦屋を想いもよらぬ形で故郷（鹿児島県鹿屋市）へ転居しました。

それは、令和5年1月5日バランスを崩し転倒、骨折だな～ ～と！！
年始の事もあり、救急隊も苦勞の末、芦屋市民病院が受け入れて下さり、1週間後に手術が出来ました。

- 病名
1. 左大腿骨転移性骨腫瘍
 2. 多発骨転移（頭～下肢）
 3. 肺転移

単なる股関節骨折の手術と思いきや、驚きの病名でした。転移性ということはどこかに原発巣（ゲンパツソウ）があると、諸検査の結果24年前の乳癌の細胞と合致、不思議な位のケースでした。全身骨転移の為、国際がんセンターにて放射線照射を行い、10日程で芦屋病院に戻り、化学療法とリハビリを開始しました。治療方針は化学療法が主の為、又、入院期間の制約もあり、通院治療を説明され、今の私の状態では訪問サービスを利用しても生活のゴールは車椅子生活である事から、悩みましたが故郷の病院で治療する決断をしました。

それから数日間はチケットの手配、各種カードの解約と本人が出向けませんので委任状の準備が大変です。（皆様、カード数の整理は大事です。必要最小限度に！！）3月26日転医も決まり、車椅子も上手に作動、室内の整理、書類の整理と1日の時間はあっという間に過ぎました。

当日（3月26日）は長年過ごしたマンションには一回も帰ることなく空港へ友人数人が見送り（御別れ？）に、2度と利用することはないであろうと寂しい気持ちで一杯でした。



鹿児島空港では姪とこども達が「ばあば、お帰り」

と迎えてくれて今までのモヤモヤがとれて帰ってきて良かった・・・と。

又、コロナで許されない時間にランチも出来て本当に幸せな時間でした。

空港から直ぐ新しい病院へ、当日は疲れもあり、でしたが元気に荷物整理？

翌日カーテンを開けたらさすが鹿屋の環境は素晴らしく遠くに山や畑などが目に入り気持ちの良い朝を迎えられます。鹿屋には鹿屋航空基地があり、近くを良く練習機？が飛んでいます。窓から良く見る事ができます。ショー等もよく開催されます。



鹿屋航空基地「海上自衛隊提供」



芦屋病院での1か月余り、治らない、歩けない病とどう付き合い、車椅子生活をどう過ごそう。心の変化は激しい毎日でした。優等生な患者でいよう・・・と頑張った様です。故郷に帰り、近くに姪達がいてくれるだけで気持ちよく過ごせています「。良くも悪くももう良いです。 まだまだ治療は続きますが希望を持ち

『日日是好日』で過ごします。 長々とお付き合いありがとうございます。

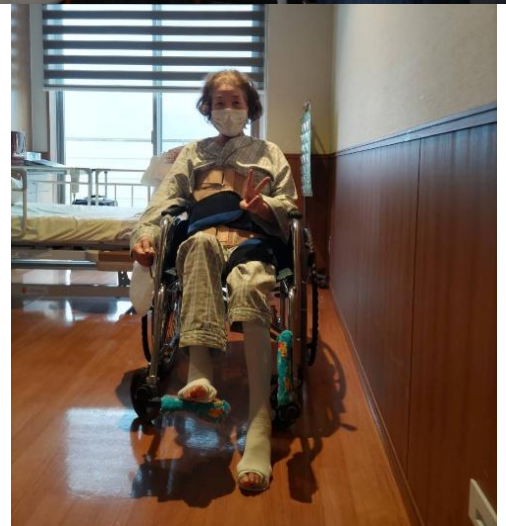
残暑も厳しいですがご自愛下さいませ。 令和7年8月 新畑恵美子



30年前 看護婦時代

ドキュメント

芦屋 ● 精道小学校



あとがき

皆さんも実感されているように、今年の夏は大変な暑さでした(これを書いている9月初旬も真夏のような暑さです)。7、8月の平均気温は全国で平年より+2.36度で、気象庁が1898年に統計を取り始めて最も暑い夏になったようです。今から6000～7000年前の縄文時代は平均気温が現在より2度くらい高かったそうです。つまり、今年は縄文時代の夏の暑さを経験したことになるわけです。もっとも、そのころは近畿地方も大阪、京都、奈良などほとんどが海でした。今の気温が長期間続くとやはり大変なことになりそうです。そんな酷暑の中、皆さんが寄稿していただいた原稿のおかげで今年も立派な「秋のさんし展」が完成しました。今回で5年目になりますが、年を追うごとにますます内容が充実しており、ひたすらに感心しております。皆さんの行動力、思考力、好奇心などは衰え知らずで、常に前向き志向なことがこの冊子を読めばわかります。

さて、7月3日に実施しました「メリケンパークオリエンタルホテルでの納涼食事会」には猛暑の中にもかかわらず多数の会員に参加いただきました。次回は11月6日(木)に舞子ビラの「有栖川」において昼食会を予定しております。今年のイベントは昼食会だけとなりましたが、皆さんの参加をお待ちしています。

さんし会企画グループ 山本武司

編集後記

皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか？ まだまだ、猛暑の日々が続いてますが、十分に水分、睡眠、休養を取り、秋のグッドシーズンを迎えましょう。秋のさんし展も今年で5回発行される事になり、今回が集大成になると考えております。皆様の御協力に感謝します。今回は遠く鹿児島にお住まいの新畑恵美子さんから投稿を頂きました。カレッジの新聞系の同輩です。私から広報を代表してしんちゃんにありがとうを！言わせて頂きます。内容はしんちゃんのご苦労が綴られております。嬉しいと同時に心が締め付けられます。あの30年前の震災時のガッツあるお姿(写真)に早く戻って下さい。

ガンバレ！ 芦屋を愛したしんちゃんに再度、御礼を申し上げます。 **ありがと！！**

又、ご協力頂いただいた“さんし会”のメンバーの皆さまにもお礼申し上げます。

広報G 堀居正治

今年は昭和100年、戦後80年、震災30年、また、万博も1970年から55年を経て2回目の開催と何かと節目の年。さんし展も今年5周年を迎え集大成としたいという思いもありました。その思いが通じたような節目に因んだ作品、写真、絵画、俳句、陶芸に加え興味深い旅行記やエッセイなどたくさんの方から感動する素晴らしい作品を投稿を頂き発行することができましたこと、ご協力頂きました皆様に感謝、お礼申し上げます。特に、ご高齢の人生の大先輩の方々からのパワー漲る投稿に脱帽、乾杯です。

皆様、繰り返し何回でもお楽しみください。

因みに、編集にあたり2021年の第1回から2025年の第5回までを振り返り、データ上まとめて1冊にしてみますと、なんと出展者38名、176頁の大作となり、あらためて驚き、まさしく、34期さんし会のパワーはまだ衰え知らずです。

広報G 戸田康幸

秋のさんし展2025

発行：2025年11月1日

編集：芦屋川カレッジ第34期同期会さんし会 広報グループ 堀居・高橋・梶本・和田・外山・戸田

さんし会ホームページURL：<https://today9027.wixsite.com/sanshikai>